（別添資料１）

事業所名	こども療育研究室　Lulu MINAHARU	支援プログラム（放課後等デイサービス）	作成日	R7 年	3 月	24 日

法人（事業所）理念		地域社会での自立を目標とするこどもたちの発達に寄り添い、専門的な支援を行う療育施設を目指します。										
支援方針		学校や家庭で「できること」が増え、地域・社会参加における適応行動につながるよう。こどもたちのライフステージを見据えた支援を行います。										
営業時間		8	時	30	分から	17	時	30	分まで	送迎実施の有無	あり	
		支　援　内　容										
本人支援	健康・生活	【健康面】 ・利用する児童が心身ともに健康で安全に生活できる環境を提供します。 ・感染症対策と衛生管理を徹底し様々な感染リスクへの対策を行います。また事業所の清掃・歓喜・消毒を徹底し清潔な環境を提供します。 ・正しい手洗い・うがいなど衛生面の習慣化を促します。声掛けに合わせて視覚支援も行い、楽しく学ぶことができるよう工夫します。 ・バイタルチェックなど健康状況を保護者と共有し、体調変化に留意して日々の支援を行います。 【生活面】 児童が自立した生活習慣を身につけるために「あいさつ」「活動準備」「トイレ」「帰り支度」などを他のお友達と練習できる機会、及び環境を提供いたします。 ①登園時のルーティン確立 持ち物をじぶんで整理する習慣の確立(バッグの中の整理を支援し自主性を促す)ができるように支援を行います。 ②清潔保持 手洗い、うがい、顔を拭くなどの基本習慣の定着を促します。 ③タイムスケジュールの汎化 タイムスケジュールの視覚化など環境の構造化を図り、時間観念やスケジュール管理の支援を行います。										
	運動・感覚	【運動面】 バランスボールや平均台を活用した姿勢保持トレーニング、エアマットを使った体幹トレーニングやバランス感覚を養う遊びの導入などセラピスト支援のもと、実施いたします。 ダンスやリズム遊びなど動きの模倣を促す機会を提供いたします。 ボール投げやキャッチボールを通じて、手と目の協調動作を養う支援を行います。 障害物コースなどを用いたサーキットトレーニングを行い、基礎筋力と体力の工場を図ります。また運動が苦手な児童には達成感が感じられる配慮を行います。 ルールや順番を学び、協力する楽しさや喜びを感じられるような遊びやゲームを提供します。 【感覚面】 感覚遊び(スライム、小麦粉粘土、水遊び)を通じた触覚刺激を促す支援を行います。 感覚が敏感な児童には毛布やクッションなどを活用し、心地よい触覚刺激を提供し安心感を付与します。 ブランコや遊具を活用した揺れや回転の刺激を促すことでバランス感覚の成長を促します。										
	認知・行動	【認知面】 ・スケジュールや絵カードを用いて「見て分かる」視覚化の環境を提供します。 ・簡単な選択肢を用いた選択機会を提供し、意思決定を支援します。 ・短時間の課題に分割し「５分でここまで頑張る」などスモールステップで目標を設定し達成感が得られるように課題提供を行います。 ・視覚的なタイマーなどを活用し、時間間隔を育む支援を行います。 ・好きなキャラクターや物を使って認知活動を促進し、児童の興味に基づいた活動・課題提供を行います。 【行動面】 ・「次に何をするのか」を明確にすることや、スケジュールボードやタイムタイマーを活用し行動の予測可能性を高める支援を行います。 ・衝動性を抑えるための環境整備を行います。 ・達成しやすいスモールステップを積み重ねて成功体験をもとに行動の学習を促します。 ・褒めることや肯定感を満たす声掛けを提供することで自己肯定感が満たされるよう支援を行います。										
	言語 コミュニケーション	【言語面】 ・活動やクイズなどの遊びの中で、新しい言語の理解を促します。 ・言葉の選択を学ぶために、ロールプレイを実施し適切な言葉の使い方を学ぶ機会を提供します。 ・学校や事業所での出来事などを振り返り、言語発達の支援を行います。 【コミュニケーション】 ・言語コミュニケーション、非言語コミュニケーションともに活用しながら意志表現を増やす機会を提供します。 ・簡単な選択肢を提示し、本人が「これ！」と意思決定できる機会を提供します。 ・「怒ってる？」「悲しい？」などSSTなどを通じて、相手の感情を汲み取るトレーニングを活動や遊びの中で提供します。										
	人間関係 社会性	【人間関係】 ・他児との交流機会を増やすことができるようレクリエーションや活動など提供します。 ・絵本や活動の中で相手の気持ちを理解・考える機会を提供します。 ・「ありがとう」「ごめんなさい」などの言葉を適切な場面で使えるよう関わり、対人関係が良好になるよう支援します。 ・ルールのある遊び(椅子取りゲームやじゃんけんなど)を通して、ルール順守の経験を支援します。 【社会性】 ・挨拶の習慣や公共の場でのルールやマナーなど絵ガードなどで学び、実際に体験する機会を提供し基本的な社会性の汎化を促します。 ・「待つ」練習を活動など楽しみの中で提供しながら衝動的な行動コントロールが身につくよう支援します。 ・お買い物ごっこや模擬体験を通じて社会体験を増やすレクリエーションを提供します。 ・高齢者施設との交流の中で、異年齢・他の環境で過ごす人たちとの関わりを増やすための活動を提供します。										
家族支援		・家庭でのケア、療育のアドバイスを行います。 ・困りごとに対する相談にのり、必要があれば社会資源の利用について関係者間で検討します。								移行支援	・学年が上がることで増える学習や集団生活の適応に備えるなど、学校生・活の困りや課題への支援を行います。 ・学習支援へと繋がるよう、机に向かうことの習慣化を図ります。 ・学校生活における不安点について、先生や友達との適切な関わり方を練習する機会を提供します。	
地域支援・地域連携		・相談員と連携し必要に応じて地域資源の活用を助言～支援します。 ・公園や公共施設を利用し。他の児童と関わる機会を提供します。 ・図書館や体育館など公共施設の利用が定着するよう活動に取り入れます。 ・障がい理解、インクルーシブな環境づくりを検討します。								職員の質の向上	・定期的な研修会を実施し、職員の知識の向上に努めていきます。 ・自治体や関係機関が開催する研修等にも参加し、知識の研鑽に励み、他法人の職員とのネットワーク作りを構築します。	
主な行事等		・時節に合わせた活動や行事 ・季節に応じたレクリエーション ・社会資源を活用した社会見学										